

平成 23 年度第 2 回「学びのひろば」アンケート

<p>①第 2 回「学びのひろば」お互いを知る～YNU をこんな風にしていきたい～ についての感想</p>	<p>第 1 回に鈴木学長先生をお呼びし、第 2 回に筆頭理事と教育担当理事の講師陣の充実振りには驚かされました。参加して良かったと思っています。</p> <p>特に、各理事とは、大学にいても直接お話する機会は少ないため、このような場に登場していただき思いを伝えていただくことは、事務職員のモチベーションはいやでも高まっていくものと思います。</p> <p>また、今回は、ディスカッションに教員が加わり、教職協働がキーワードで議論しましたが、私の班は特に管理職を経験された方だったので、職員との壁もなく、参加した各者からも多くの話題が出て充実したディスカッションが行われたと思います。</p> <p>今回のテーマは、今後も継続して議論していくべき重要テーマと思います。まだまだ、多くの教員と事務職員がディスカッションしていく必要性を感じました。</p>
<p>②参加していただいた理事・教員の皆様へのメッセージ</p>	<p>國分理事から紹介されたツイッターより（仮想日記 1～6）のお話は、多くの事務職員への警鐘と理解しました。改善は目の前にあり、教職協働の理想と現実を縮めて行く必要性を感じました。</p> <p>溝口理事からのリレー型からラグビー型のお話は、とても現実的で協働の理想型と感じております。目の前にある事務組織の在り方として、とても参考になりました。</p> <p>両理事からは、多くのメッセージが発信されたと思います。今後の仕事に生かせたらと思った次第です。</p>
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>企画担当者の方々のご苦勞に感謝いたします。今後の企画が益々楽しみになりました。</p>

平成 23 年度第 2 回「学びのひろば」アンケート

<p>①第 2 回「学びのひろば」お互いを知る～YNU をこんな風にしていきたい～ についての感想</p>	<p>理事のお二方も含め、教員の方々に参加していただき、教員の視点から見た教員と職員の関係性、仕事での関わり合いで思うことや不満、改善策など通常業務内ではまず聞くことのできないであろう様々な意見を聞くことができ、大変興味深く、考えさせられました。自身の視野を広げることができる、そのきっかけにもできたのではないかと思います。</p>
<p>②参加していただいた理事・教員の皆様へのメッセージ</p>	<p>貴重なご意見、お言葉をありがとうございました。自分自身、教員の方々の実情について理解できていない部分が本当に多くあるのだということを、改めて痛感させられました。</p> <p>職員は教員の実情を理解したいと思っているはずなので、ぜひ先生の側からも職員の対応で不足している部分、またはその改善案などをご教示いただけますとありがたいです。</p>
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>教員に参加してもらおうということは大変有意義だと思うので、これからも何らかの形で職員と教員双方が関わりあえるような内容を期待したいです。私の班の先生は終わった後、とても楽しかったとおっしゃってくれました。</p>

平成 23 年度第 2 回「学びのひろば」アンケート

<p>①第 2 回「学びのひろば」お互いを知る～YNU をこんな風にしていききたい～ についての感想</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●回を重ねるごとにますます打ち解けた雰囲気になっていると感じる。 ●教員に協力してもらえるのは頼もしく感じる。 ●教員がディスカッションに参加する意義が必ずしも明確に伝わっていなかったのか、教員が何をすればいいのか若干戸惑っている様子だった。（「教員と交流ということより、まずは事務局の幹部の方々の間で考えてもらうのがいいのでは？」という意見が出て、もっともだと感じてしまった。）せっかく参加してもらっているので、参加をお願いする際には、「将来的に◎◎ができるようになることを目指している。現在は××といった段階にあり、今回のまなびのひろばでは□□のための意見交換をしたいので協力して欲しい」（←たとえば）、というように意図を明確に伝えると、教員からの意見も出やすいと思う。 <p>やみくもに職員と交流を、と参加を促しても、「何のための交流」というのが明確でないと、教員側も積極的にかかわりにくいのではないかと感じた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「情報の見える化」というテーマの講演はもちろん意味のあることと思うが、その前に「なぜ今、情報の見える化について考えるのか」「情報の見える化が私たちの目指す大学像とどう結びつくのか」ということがいまひとつ見えにくかった気がする。
<p>②参加していただいた理事・教員の皆様へのメッセージ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●ご参加ただけて大変ありがたかった。 ●普段会う機会のない他部局の先生と接する機会が持ててよかった。こんなところにこんな先生がおられるのだな、と大学に対しての親近感が増した。

③今後の「学びのひろば」への要望

●まなびのひろばもある程度回数を重ねてきているので、集まりの目的が、単に「交流を深める」「互いをよく知る」ということにとどまっているとしたら、若干物足りない感じがする。意見を言いやすい雰囲気づくりは、もうある程度できているのではないだろうか。

●全体としてどこへ向かっているのかが、あまり明確でない気がする。発起人とそこに集まった人たちには、きっと共有できる「思い」があると思うので、それを合言葉（スローガン？）のような形でまとめ掲げることは有意義ではないかと思う。こういったものがあれば、活動テーマも決めやすいと思う。

●例えば私は「ハッピーな気持ちで仕事ができる職場にしたい」と考えている。人材を集めたり、逆に流出を防ぐためには、まず魅力ある職場であることが大切と感じる。学生は人材（教員・職員）を含めた大学の環境を見て集まってくるのだと思うし、環境は人材がつくる部分がかなり大きいと思う。

●人と人との関係がスムーズになっていく（＝仲良くなっていく）というのは、結果であって、目的ではないと感じる。（なでしこジャパンも「金メダルをとる」という目標をみなでぶれなく共有できていたから団結できたのではないかと思う。）

●業務の効率化は、公務員としての務め（税金の無駄遣いをしない、最少のコストで最大の成果を出すなど）、という視点のほかに、「人間らしい生活を送り、幸福感を高めるために必要」、という視点があってもいいと思う。「公務員としての務め」ということばかりを持ち出すと、一見納得感はあるが、「しぼり」を感じてしまうし、正直、じゃあ業務の効率化をがんばろう！という気にはなりにくい気がする。

●国大よりもブランド力がある（教員や学生をひきつけている、研究成果を出している）と思われる大学について徹底調査し、国大での実現可能性について検討する、というのも有意義ではないか。比較により国大のの魅力を再発見という効果も期待できるかもしれない。

平成 23 年度第 2 回「学びのひろば」アンケート

<p>①第 2 回「学びのひろば」お互いを知る～YNU をこんな風にしていきたい～ についての感想</p>	<p>新しい視点からの議論は、実験的だが有意義であったと思う。</p>
<p>②参加していただいた理事・教員の皆様へのメッセージ</p>	<p>率直なご意見を頂戴できてよかったと思う。</p>
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	

平成 23 年度第 2 回「学びのひろば」アンケート

<p>①第 2 回「学びのひろば」お互いを知る～YNU をこんな風にしていきたい～ についての感想</p>	<p>國分理事・溝口理事からのご提言、興味深く楽しく拝聴しました。ある教員のつぶやきには、頷きつつも、そこは国のお金が投じられている以上、我慢してほしいと思うところもあり、この攻防が解消されることはないんだろうなあと改めて感じました。</p> <p>教員と職員の「めんどくさいなあ」「そこをひとつなんとか」というやりとりも、ひとつの定型のコミュニケーションとして（個人的には）楽しんでいる部分もあるので、要は、気持ちよくこういったやりとりができる信頼関係・友好関係を、いかに多くの教職員間で築いていけるか、なのかなと考えています。</p> <p>先生と机を囲んでお互いの関わり合い方について話す、というのなかなかない貴重な機会だったと思います。</p>
<p>②参加していただいた理事・教員の皆様へのメッセージ</p>	<p>グループディスカッションでは国社・中村博之先生に同席していただきました。</p> <p>中村先生は本学の監査業務も兼務されているので、特に会計事務に係る作業の繁雑さには理解を示されていましたが、問題なのは「これはだめ、あれもだめ」と事後に却下されることであり、事前に複数のプランを職員が示し、その中で教員が選択し実行する、という流れが肝要なのでは、と仰っていました。受け身にとどまらないスタンスは業務の効率化につながりますし、それこそ教員の「パートナー」になり得るものだと思います。</p> <p>大学は多種多様の専門分野で活躍する教員を有する独特の環境であり、それだけに教職員間で摩擦が生じることも少なくないのかもしれませんが、そんな方々と関係をもてることこそ、大学職員の醍醐味だとも思います。今の係では仕事上先生方と関わる機会はほとんど無いので、久しぶりの賑やかさで楽しかったです。</p> <p>時間切れで話も中途半端に切り上げてしまいましたが、温かく率直な中村先生のお人柄のおかげもあり、終始リラックスして会に臨むことができました。貴重なお時間を本当にどうもありがとうございました。</p>

<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>毎回コーディネートお疲れさまです。 職員同士で交流するのも土台を固める、という意味で有意義だと思いますが、教員が加わることで話の内容も拡がり、面白味が増したと今回感じました。 そうすると次のターゲットは学生さんでしょうか。</p>
-------------------------	--

平成 23 年度第 2 回「学びのひろば」アンケート

<p>①第 2 回「学びのひろば」お互いを知る～YNU をこんな風にしていきたい～ についての感想</p>	<p>大学職員としての貢献を考えるきっかけとして、今回の学びのひろばは多くのものを得られたと思います。今回は講演のみの参加でしたが、教員のパートナーとして貢献し続けるために、見つめ直すきっかけにもなったと思います。各理事の講演は非常に参考になりました。是非、パートナーの考えを聞く場は残していただきたいと感じました。パートナーの考えを聞き、教員、大学から求められている仕事を見極めることでより頼れるパートナーとして成長し続けられるのではないかと考えます。</p>
<p>②参加していただいた理事・教員の皆様へのメッセージ</p>	<p>理事としては日頃から接する機会が少ないため、学びのひろばという場で、教員の今、大学の考え、を知ることができ大変参考になりました。それは教員のニーズという貴重な情報で、学びのひろばという各部署の事務系職員が集まる「場」で情報を提供していただくことで、よりよい取り組みに繋がるものと感じました。今後は、職員の取り組みの成果をフィードバックしつつ、ディスカッションを重ねていくことで教職協働が加速するのではないかと感じました。</p>
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>今回、國分理事から教員の仮想 Twitter として、教員の今が示されました。これについてはディスカッションで検討されているものと思いますが、職員の仮想 Twitter として職員が考えたこと、取り組んだことをお返ししてはどうかと思います。そういったやりとりを重ねていくことでパートナー意識を持ち、パートナーとして行動を起こせる職員が増えていくのではないかと考えます。その仮想 Twitter の中で、良い職員の考えや行動については Facebook で言うところの「いいね！」を教員側から送っていただけのような状態を作ることで職員の進化は加速するようにも思います。</p>

平成 23 年度第 2 回「学びのひろば」アンケート

<p>①第 2 回「学びのひろば」お互いを知る～YNU をこんな風にしていきたい～ についての感想</p>	<p>教員の方々と、普段学務係で接する際と違ったかたちでお話しができる良い機会になったと思います。 事務職員と同じように教員も、お互いが日頃からコミュニケーションを多く取り、和やかな雰囲気を作ることで仕事がやりやすくなると感じていると知ることができました。 今回の経験を生かし、日々の業務の中でも電話やメールのやりとりのみではなく教員と直接顔を合わせる機会を作ることができればと思います。</p>
<p>②参加していただいた理事・教員の皆様へのメッセージ</p>	<p>理事の方々にも、グループディスカッションでご一緒した先生にも、真摯に事務職員や学校の制度に関する思いを話して頂けたと感じました。 これからの日々の業務に活かしていくことができればと感じています。</p>
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>私は今回が初参加だったのですが、今回のように教員と通常業務以外の場でお話しする機会というのは非常に貴重だと感じました。 今後も、毎回でなくていいので教員とお話しする機会があればと感じます。 また他部局の方とお話しすることも多くないので、そういった機会もあればいいと感じています。</p>

平成 23 年度第 2 回「学びのひろば」アンケート

<p>①第 2 回「学びのひろば」お互いを知る～YNU をこんな風にしていききたい～ についての感想</p>	<p>理事からのお話のみ聴講させて頂きましたが、研究力の強化のために教職員がどのような働きをすればよいのか、情報の見える化と伝達方法、業務の性質による理想的な協働の形について、特に考えさせられました。業務上様々な部局から意見を集約することが多いので、集まってくる情報により敏感になり、先々を考えて先手をうてるように、ぶとう畑のバラのような存在になっていかなければならないと思いました。また、仮想日記の教授のつぶやきは少々胸が痛かったです。極力負担を最小限に抑えようとは考えているのですが、それでもお時間を頂いてしまうことが多々あるので、このやり方でいいのか、ということは常に振り返っていききたいと思います。</p>
<p>②参加していただいた理事・教員の皆様へのメッセージ</p>	<p>お忙しい中、貴重なお時間を頂きまして、有難うございました。今回ディスカッションに参加ができなかったのが残念でしたが、今後お会いすることもあるかと存じますので、その際には是非お話を伺いたいと考えております。受け身にならずに、汲み取る努力もしていきたいと思いました。今後ともよろしくお願い致します。</p>
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>今回はディスカッションに参加することができなかったのですが、また今回のような企画をお願い致します。また、今度は学生と意見交換ができるような企画もあると良いと思います。</p>

平成 23 年度第 2 回「学びのひろば」アンケート

<p>①第 2 回「学びのひろば」お互いを知る～YNU をこんな風にしていきたい～ についての感想</p>	<p>國分理事と溝口理事のお話のみ参加させていただきました。 理事から事務業務について問題提起があったので、今後業務の進め方や、決まりを考え直すきっかけになると思いました。</p>
<p>②参加していただいた理事・教員の皆様へのメッセージ</p>	<p>特になし</p>
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>特になし</p>

平成 23 年度第 2 回「学びのひろば」アンケート

<p>①第 2 回「学びのひろば」お互いを知る～YNU をこんな風にしていききたい～ についての感想</p>	<p>初めて参加させていただきました。 普段お話をする機会がある教職員の方は限られているので、このように各部局・各学部の先生方とお話できたことはとても貴重な経験でした。 ざっくばらんに意見交換ができるグループディスカッションだったので、今まで仕事をしてきて思っていたことや感じていたことも気軽に話すことができよかったですと思います。</p>
<p>②参加していただいた理事・教員の皆様へのメッセージ</p>	<p>多忙なスケジュールの中、お時間を割いていただき誠にありがとうございました。 國分理事のお話の中にもありましたが、教員の方に事務処理を行っていただくのが教職協働ではないですし、効率的に事務処理を行い、先生方に研究に専念していただける環境を一緒に作り上げていけたらと思っています。</p>
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>大学全体として“国際性”を掲げているわけですから、職員も国際化ということに対して意識を向けることが大切だと思います。 大学間交流協定を結んでいる海外大学の職員や先生方のお話を伺ったり、グループディスカッションをしたりする機会があればいいのではないのでしょうか。</p>

平成 23 年度第 2 回「学びのひろば」アンケート

<p>① 2 回「学びのひろば」お互いを知る～YNU をこんな風にしてきたい～ についての感想</p>	<p>今回、理事を始め、教員の方々と「学びのひろば」のなかで一緒にお話することができ、とても楽しく意見交換をすることができました。教員の方々とは仕事や書類を通してお話する機会はあっても、同じテーブルに着いてざっくばらんに話すことがないので、新鮮であり、発見もありました。</p> <p>私がこの大学に就職した時には教員と事務職員には見えない序列のようなものがあり、教員の支援に徹するのが事務職員の任務でしたが、段々と事務職員にも教員と一緒に議論するような機会が与えられたり、大学運営にあたってのパートナーとしての役割も持つようになり、益々事務職員の役割が大きなものになったと感じています。</p> <p>しかし、役割が大きくなっただけでなく、責任も事務職員としての能力や知識も必要となりましたが、その責任や能力、知識に見合っただけの事務職員になっているかと言うと私自身は到底その域まで達してないと思います。</p> <p>教職協働が求められるなかで、自分自身がどれだけ求められている事務職員像になれるかは、日々努力しなければならぬと思いますし、それではなければ同じ土俵に立たせていただく教員に失礼だと思いました。</p>
<p>②参加していただいた理事・教員の皆様へのメッセージ</p>	<p>お忙しい中、ご講演と意見交換の場にご参加いただきまして、ありがとうございました。</p> <p>今回、國分先生のお話がとても印象に残りました。先生の意図をはっきり理解できていないかも知れませんが、先生のおっしゃられる教職協働の意図していることが事務職員側から理解ができませんでした。どうしても先生のおしゃる教職協働とは、教員が研究を行う時間を確保するために、できるだけ事務処理は事務職員が行う又は教員に事務処理で手を煩わさないようにすることのように感じました。</p> <p>私は教職協働とは、教員の方々と大学の目的達成のために共に知恵を出し合い協力して仕事をしていくものと思っていますが、先生の問題提起された内容を拝見すると、国民の税金が投入され運営さ</p>

	<p>れている大学の経費をととても簡単に考えてらっしゃるのかと疑問に思いました。</p> <p>先生は講演の中で国の税金を投入する高等教育機関として、国民に存在価値を認めてもらう必要があるとおっしゃられました。同時に、税金が投入されている機関の公的研究費の使い方という観点に立てば、その資金の使い方については、社会に対して教職員一人一人に説明責任があり、資金の公共性を自覚して行動しなければならないものと思います。</p> <p>教員の皆様においては様々なご意見はあるかと思いますが、公的資金であるがゆえに会計担当者は外部に対して適正に予算を執行していることを説明しなければなりません。教員の方々に配分された、また、外部の機関から資金を取って来られたものであっても、公的な資金には変わらず、社会に対して説明の付かないことはできませんし、会計職員は適正に執行していることを説明するために理由書を出していただいたり、できないことはできないと申し上げることが会計職員の仕事だと思っています。教授の先生のツイッターを拝見して事務側に落ち度があったり、誤った処理をしている例もありますが、教授の意向のままに事務処理を進めれば不適切な処理であったり不必要な支出として大学が指摘を受けることになる例もあります。</p> <p>今後も益々、事務職員には必要となる知識・能力を高めていくことが求められますし、教員のサポートをいかに出来るかについても考えていく必要も勿論あります。また、教員の方々に対してはいかに研究に対する時間を確保していただきつつ、公的研究費の執行面においては、粘り強くご理解をいただく必要があると思いました。そして、その中で教員と一体となって教職協働が実現すれば良いと思っています。</p>
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>今後も教員の方々と意見交換ができる場として「学びのひろば」があればうれしく思います。</p>

平成 23 年度第 2 回「学びのひろば」アンケート

<p>①第 2 回「学びのひろば」お互いを知る～YNU をこんな風にしていきたい～ についての感想</p>	<p>ディスカッションと聞いて少々身構えての参加でしたが、先生方ともざっくばらんにお話できました。</p>
<p>②参加していただいた理事・教員の皆様へのメッセージ</p>	<p>他機関での経験談、教員側・経営側からの視点など興味深く伺いました。 ありがとうございました。</p>
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>必ずしも結論や総括を求めないスタイルは気軽に参加しやすく感じました。このスタイルを続けていただければと思います。</p>

平成 23 年度第 2 回「学びのひろば」アンケート

<p>①第 2 回「学びのひろば」お互いを知る～YNU をこんな風にしていきたい～ についての感想</p>	<p>いつもはあまりお話しすることのない先生方の意見を聴くことが出来て、とても参考になりました。</p>
<p>②参加していただいた理事・教員の皆様へのメッセージ</p>	<p>お忙しい中、学びのひろばに参加いただきありがとうございました。 事務職員とは異なる視点からの意見はとても参考になりました。</p>
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>教員と事務職員のお互いの考え方を理解するために、これからも先生方の意見を聴く機会をたびたび設けられたらと思いました。</p>

平成 23 年度第 2 回「学びのひろば」アンケート

<p>①第 2 回「学びのひろば」お互いを知る～YNU をこんな風にしていききたい～ についての感想</p>	<p>教職協働という言葉自体が目的と化してしまような事態だけは良くないと感じました。結局のところ、何を目的として協働するのかが明確でないと、意思決定に対して疑問を抱く者も少なからず出てくるし、組織として実務に動く際のモチベーションも下がると考えました。</p> <p>また、溝口先生のお話が印象的でした。リスクや改革を組織としてどのように扱えばよいのかについて、非常に考えさせられました。末端の人間としては、思ったこと、感じたことを上にあげていく必要を感じました。</p>
<p>②参加していただいた理事・教員の皆様へのメッセージ</p>	<p>今回参加していただいた理事・教員の方々にはいらっしゃらないと思いますが、「教員より事務の方が下」という風潮を無くしていただけたら幸いです。GD で一緒になった教員の方も、そのような風潮はおかしいし、終了したときに特別に拍手をもらうことはいらないと仰っていました。お互いの仕事に対する無知が無用な対立を生むと、損をするのは両方です。学問の専門家としての矜持をお持ちだとは思いますが、理解し合って、歩み寄れる関係が理想だと考えました。</p>
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>GD の時に出た話では、学生も参加させたらどうか、というお話がありました。どのような学生かとまでは特定していませんが、講義以外で教員と職員は日々このようなことを考えながら仕事をしています、と伝える機会としては良いのではないかと思います。これは、施設や環境に対して不満を持っている学生に対して説明できる場であるとも思います。</p>

平成 23 年度第 2 回「学びのひろば」アンケート

<p>①第 2 回「学びのひろば」お互いを知る～YNU をこんな風にしていきたい～ についての感想</p>	<p>先生方の立場から見た、本学事務の運営方法—特に教員の仮想日記・つぶやき—を聞くことができ、良かったです。</p> <p>立場の違う相手の率直な意見や感じ方を、不満や困っている点を含めて、無いことにしないで、陰口にしないで、しっかりと話し合える機会を持つことが、改善へ向けての第一歩だと感じました。</p> <p>とはいうものの、私も同じ班の事務系の皆さんも、仮想日記にあった話を「やはり、そうでしたか。」と感じつつ、問題意識も持ちつつ、やはり、耳の痛い、受け止めるのが大変な話でした。</p>
<p>②参加していただいた理事・教員の皆様へのメッセージ</p>	<p>事務職員として、普段は、なかなか聞くことのできない先生方のお話や本音に触れることができ、良かったです。</p> <p>参加していただいた理事や教員の皆さんは、「横浜国立大学を共に良い大学にしていこう。」という意識の高い方々だと思います。</p> <p>そういう方々に、「学びのひろば」に来ていただいたこと、お話をさせていただいたことに感謝します。</p>
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>最近、職場に「うつ」やメンタルな不調を抱える人が増えているような気がします。</p> <p>職場の皆さんが個人として、どのような工夫や心がけをして、メンタルヘルスに気をつけているのか、また自分自身や同じ部署の人で調子が悪そうな人がいた場合、何ができるのか、考える機会があったら、いいな と思います。</p>

平成 23 年度第 2 回「学びのひろば」アンケート

<p>①第 2 回「学びのひろば」お互いを知る～YNU をこんな風にしていきたい～ についての感想</p>	<p>今回は、両理事のお話を伺っただけですが、職員の SD 研修に教員が参画し、自らの言葉でアピールされる姿を見て、国立大学法人化後したのだなと、改めて思いました。国立大学で教職協同が話題となるとは画期的です。</p>
<p>②参加していただいた理事・教員の皆様へのメッセージ</p>	<p>溝口理事のお話は、新組織設置の際の教員と職員の連携の具体例からの話で、職員に対する信頼と暖かい目を感じることができました。こんな理事と仕事ができる幸せだと思います。</p>
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	

平成 23 年度第 2 回「学びのひろば」アンケート

<p>①第 2 回「学びのひろば」お互いを知る～YNU をこんな風にしていきたい～ についての感想</p>	<p>普段の学びのひろばとは異なり、教員の方も参加すると聞いて、最初はとても緊張していたのですが、先生のお人柄もあり、楽しくグループディスカッションに参加することが出来ました。普段、教員の方とお話することがほとんどないため、教員の方の意見を直に聞くことができる今回の学びのひろばは、とても貴重な機会となりました。</p>
<p>②参加していただいた理事・教員の皆様へのメッセージ</p>	<p>教員の皆さんが事務職員に対して抱いている印象を知ることができ、勉強になりました。同じ班になった熊崎先生は気さくで、お話しやすく、「職員の方に助けてもらうことが多い」とお話し下さったのが印象的でした。今まで、機械的に処理してきた業務もこういう先生の為に行っているのだなと思うと、頑張ろうという気持ちになりました。</p>
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>講演＋グループディスカッションという形式を今後も続けてほしいと思います。 毎回恒例となっているグループディスカッションですが、今回は教員の方々の参加でとても新鮮なものに感じました。もし可能であれば、学生の立場からの意見も聞けると良いかなと思います。</p>

平成 23 年度第 2 回「学びのひろば」アンケート

<p>①第 2 回「学びのひろば」お互いを知る～YNU をこんな風にしていききたい～ についての感想</p>	<p>今まで教員の方から意見を聞く機会があまりなかったので、大変有意義な会でした。ぜひまたこのような会を企画していただきたいです。</p> <p>國分理事のお話では、実際に自分が経験したような事例もあり、改めて考えさせられることがありました。</p> <p>学びのひろばや懇親会などの機会を活用し、教員と職員の間の方のギャップを無くしていけたら、組織としてより強力なものになれると思いました。</p>
<p>②参加していただいた理事・教員の皆様へのメッセージ</p>	<p>この度は大変興味深いお話を聞かせていただき誠にありがとうございました。効率的に事務処理を進めていくために、参考になるような意見を数多く聞くことができ、大変勉強になりました。</p> <p>教職協働として仕事をする上で、こういった意見はとても貴重ですので、今後も何か思うことがあればご指摘いただければ幸いです。</p>
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>グループディスカッションの中で話に出たのですが、本学は窓口対応等を除いて職員と学生の接点がほとんどない状況です。他大学では学生が自主的な組織を作り、大学の在り方を教職員と共に話し合う機会を設けていると伺い、大変驚きました。</p> <p>今回は職員と教員が意見を交換するものでしたが、学生と話し合う機会を設けることも、事務組織の改善や学生の愛校心を育てるうえで大事なことだと感じました。</p>

平成 23 年度第 2 回「学びのひろば」アンケート

<p>①第 2 回「学びのひろば」お互いを知る～YNU をこんな風にしていきたい～ についての感想</p>	<p>國分理事の教職協働についてのお話は、何となくですが勉強させていただきました。職員と先生方の間にも問題があり、大変さが伝わってきました。 溝口理事のワイン畑の話は印象に残りました。 協働の形にも色々あるけど、お互いにわかり合うことが大切だと思いました。</p>
<p>②参加していただいた理事・教員の皆様へのメッセージ</p>	<p>國分理事と溝口理事 すばらしいお話をありがとうございました。 グループディスカッションに参加しなかったので、機会があれば教員の方々と話しができればいいと思います。</p>
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>特にありません。 学びのひろば運営スタッフの方々 お疲れ様でした。 今後ともよろしく願いいたします。</p>

平成 23 年度第 2 回「学びのひろば」アンケート

<p>①第 2 回「学びのひろば」お互いを知る～YNU をこんな風にしていきたい～ についての感想</p>	<p>普段聞けない理事の話や、先生達がどのように考えてるかを知れて、とても勉強になりました。</p>
<p>②参加していただいた理事・教員の皆様へのメッセージ</p>	<p>経理課へのお話が多々ありましたが、経理課としては心苦しかったです。経理課も努力をしていることを、わかっていただきたいです。</p>
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>また参加しやすい新しい企画を考えていただけると嬉しいです。</p>

平成 23 年度第 2 回「学びのひろば」アンケート

<p>①第 2 回「学びのひろば」お互いを知る～YNU をこんな風にしていきたい～ についての感想</p>	<p>教員にとってのサポーターか、パートナーかという考える機会が持ててよかった。自分の班は、教員にとって、職員がパートナーであるとも考えることも大切だが、職員一人一人が先生方から、信頼され、パートナーだと思ってもらえるよう努力も必要だと結論になり、自分も先生方から信頼を得られるよう努力が必要だと改めて思いました。</p>
<p>②参加していただいた理事・教員の皆様へのメッセージ</p>	<p>他学部先生と接する機会がまったくなかったので、別の学部の先生と接する機会が持てて、よかったと思います。</p>
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	

平成 23 年度第 2 回「学びのひろば」アンケート

<p>①第 2 回「学びのひろば」お互いを知る～YNU をこんな風にしていきたい～ についての感想</p>	<p>國分理事の Twitter 形式をとった教授メッセージはたいへん興味深く、中には反発を覚えた方もいたようでしたが、私には教員の多忙さからするともっともなご意見に思えました。正月すら返上で働く先生、欠席しがちの学生の家まで様子を見に行く先生、打合せをお願いするとゼミまでの 15 分、のように時間をやりくりしてくれる先生・・・教員の中には 1 分 1 秒を惜しむような生活をされている方がいます。かつてと比べると、正規職員が教員のすぐ近くで働く機会（部署）が減っていると思われます。特に若手職員は、事務局から出て、先生や学生の現場を早めに経験することで、職員に求められる役割、教職協働の重要性を実感できるのではないのでしょうか。</p>
<p>②参加していただいた理事・教員の皆様へのメッセージ</p>	<p>普段、先生方のお話を聞く機会はあまりなく、貴重な時間となりました。國分理事のお話の中の、教職協働とは「実現した結果の喜びを共有すること」というお言葉にとっても共感しました。大学は、1 企業よりも、目標の共有が難しい組織だと感じていますが、そんな中で大事なことは、共に関わったことの成果を大きくても小さくても一緒になって喜ぶことだなあ、と実感しています。その積み重ねが、溝口理事のおっしゃるラグビー型のプロジェクトを、より活発に円滑に進めることにもつながるのでは、と思います。</p>
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>はじめての出席で、特にグループディスカッションの時間が不安でしたが、進行の方も上層部の方も話しやすい雰囲気をつくってくださり、気負わず加わることができました。いつも同じ顔ぶれでなく、様々な立場の職員が気軽に参加できるような開かれた「ひろば」であってほしいと思います。 せっかくの学びの場で話し合われた課題や対応策を半年、1 年、3 年後など定期的にフォローし評価する仕組みがあると、具体的な成果に結び付けられるのではないかと思います。学生と同じで、学び発見したことに対して何らかのフィードバックが得られると励みになりそうです。</p>

平成 23 年度第 2 回「学びのひろば」アンケート

<p>①第 2 回「学びのひろば」お互いを知る～YNU をこんな風にしていきたい～ についての感想</p>	<p>大学職員は、つい前任者から引き継いだ仕事を前回どおりにきちんとやる事に注力してしまいがちだと思うし、自分もその一人だったが、今回先生方側のご意見を聞き、今までのやり方が必ずしも正しいわけではない、ということ念頭に置きながら仕事をしなければいけない事に気づかされた。今回お話を伺った中で、大学規則が分かりにくいというご意見があった。それが教員に事務手続きの手間を増やす大きな原因であるのではと感じた。職員はもっと規則を読みやすく・わかりやすいマニュアルにし、教員に広く周知すればいいのではないかと思う。</p>
<p>②参加していただいた理事・教員の皆様へのメッセージ</p>	<p>普段中々伺うことの出来ない、忌憚ないご意見をいただけて、職員は皆勉強になったと思います。今後様々な部署に異動した先では、参考になる貴重な体験となりました。ありがとうございました。</p>
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	

平成 23 年度第 2 回「学びのひろば」アンケート

<p>①第 2 回「学びのひろば」お互いを知る～YNU をこんな風にしていきたい～ についての感想</p>	<p>事務局では普段多くの先生方と関わる機会がないため、今回このような機会での情報交換が出来たことで、職員が先生方に、先生方が職員に、今まで感じていた誤解を解消する一歩を踏み出せたのではないかと思います。</p> <p>先生方との情報交換では、先生方が「経費」や「旅費申請」「清掃の行き届かなさ」への不満を漏らしており、職員にも同様に感じている方が多数いたり課題共有をすることができ、今後教職協働していく上で改善すべき点も見えてきたように思います。</p>
<p>②参加していただいた理事・教員の皆様へのメッセージ</p>	<p>國分理事の仮想日記（ツイッター）を用いた説明は、今まで知ることが出来なかった先生方の業務の負荷が大きいことや研究の時間の確保が難しいことなど、新人職員でも非常に分かりやすい内容でした。</p>
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>特になのですが、メールでの告知だけでなく、ポスターなどもう少し目立つように掲示し、より多くの方が参加できるよう呼びかけたらよいのではないかと思います。</p> <p>メールですとどうしてもいろいろなメールに混ざりこみ、忘れてしまいがちなので…。</p> <p>せっかくの素晴らしい会なので、もっと多くの職員に周知できたら良いと思います。</p>

平成 23 年度第 2 回「学びのひろば」アンケート

<p>①第 2 回「学びのひろば」お互いを知る～YNU をこんな風にしていきたい～ についての感想</p>	<p>業務の都合により、今回は理事のお話のみを拝聴しました。</p>
<p>②参加していただいた理事・教員の皆様へのメッセージ</p>	<p>國分理事と溝口理事のお話を伺うことができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。なかなか考えを伺う機会がないので、こおような場を設けていただき感謝しております。 理事の考える大学が目指すべき目標や、教職協働の理想像を伺い、自分も多くいる事務職員の一員として、同じ方向を向いて日々業務を遂行していこうと気持ちが引き締まりました。また、問題点を提起され、普段教員と接する機会のない自分には、教員はこのように感じているんだと新たに気が付かされることが多くありました。</p>
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>今回の教員を交えてのディスカッションは、業務の都合上参加できなかったもので、またこのような機会を設けていただき、自分も教員が何を考え感じているのかを伺ってみたいです。</p>

平成 23 年度第 2 回「学びのひろば」アンケート

<p>①第 2 回「学びのひろば」お互いを知る～YNU をこんな風にしていきたい～ についての感想</p>	<p>國分理事のプレゼンテーションを拝聴し、事務職員であるわれわれが日常に仕事を遂行する際、いかに間違いなく正確に事務遂行するかということにとらわれすぎていると痛感しました。</p> <p>仕事の緻密さ、正確性といったことも大切ですが、何より大事なのは、本学で教育研究がより拡充した成果を生み出すことができるよう職員として何ができるかということの問題意識として持ち続けることであり、その点を忘れずに業務を遂行していきたいと感じております。</p> <p>さらに、溝口理事の講話を拝聴し、他部署との連携・協力し、互いに情報提供を行っていくことが、業務遂行上不可欠な要素であると感じました。また、改組に関して多くの教職員の力を必要としたこと、及び教職員が一丸となり、教員・事務職員の区分や部局等の壁を越えて連携・協力した上で改組を成し遂げたこと、の 2 つの点から考えてみても、今回行われた改組が本学教職員が協同となった結果得られた、本学にとっての大きなひとつの成果物ではないかと思うところです。</p>
<p>②参加していただいた理事・教員の皆様へのメッセージ</p>	<p>役員・教員、事務職員が一体になって大学を運営し、本学がより一層魅力ある大学となればなあと感じました。</p>
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	

平成 23 年度第 2 回「学びのひろば」アンケート

<p>①第 2 回「学びのひろば」お互いを知る～YNU をこんな風にしていきたい～ についての感想</p>	<p>テーマは視点を限定しすぎず、普段感じていることや講演に関連することなど幅広のコメントを出しやすかった。その反面、漠然としているため発言のタイミングを得るまで皆が沈黙することもあった。進行役として不十分な点もあったが、班のメンバーが協力的であり助けられたように思う。理事の講演内容はテーマにマッチしていたと感じた。アンケートや周囲の様子から、次の段階として学生との連携を考える人が多いと思う。</p>
<p>②参加していただいた理事・教員の皆様へのメッセージ</p>	<p>このたびご参加をいただきありがとうございます。学びのひろばに対し、今後ご理解とご指導をお願いいたします。</p>
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>学びのひろばは大学の経営について考え、行動に結び付けるきっかけの場である。目的は個々の学びであり、数回参加しただけで個人や組織がレベルアップできるものではないし、職員塾の反省を踏まえて力を抜いて楽しみながら参加できるのが良い。したがって、これまでとだいたい同じような実施を継続してほしい。やらされ感でなく自発的に発展させることには反対ではないが、むしろ学びのひろばでの「気づき」をきっかけに別の形で自主的な勉強会の立ち上げや職務改善の行動をするような展開が望ましいと思う。学びのひろばの試行期間を含め、これまでに参加者のアンケート回答で具体的な要望や指摘が多数出されており、検討の上、実現可能ならどんどん取り入れてほしい。</p>

平成 23 年度第 2 回「学びのひろば」アンケート

<p>①第 2 回「学びのひろば」お互いを知る～YNU をこんな風にしていきたい～ についての感想</p>	<p>設定されたテーマの通り、事務職員と教員それぞれが何を思い大学の業務にあたっているのかを知るという点で有意義でした。また教員を中心として活発に議論が進み、大変刺激的でした。しかし発言者が偏ったことについては、運営スタッフとして自分の進行方法に問題があったと反省しています。</p> <p>時間の制約があるなかでは厳しいのですが、議論をまとめて発表する機会がないと、他のグループでの話し合いの内容を知ることができず、もったいないように思えました。</p>
<p>②参加していただいた理事・教員の皆様へのメッセージ</p>	<p>班には溝口理事と中嶋先生に加わっていただいていたので、日頃の思いを、きれいな言葉でごまかすことなく、本音でお話いただき、また事務側の思いも受け止めていただいたので、大変うれしかったです。</p>
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>学びのひろばには「参加してみると意外におもしろい」という印象を自分は毎回感じていますが、周囲に参加を呼びかける際、その目的や効果の説明をうまくできません。研修ではないため求める効果は人それぞれでよいと考えていましたが、このままでは参加者が固定化するばかりであるように思います。</p> <p>内容を工夫する以外に、参加者の集め方についてもあらためて考えないと、長くは続かないような気がしてきました。また、内容を発展させるスピードをある程度抑えないと、これまで参加したことのない人にとってはますます参加しにくくなってしまいます。</p>

平成 23 年度第 2 回「学びのひろば」アンケート

<p>①第 2 回「学びのひろば」お互いを知る～YNU をこんな風にしていきたい～ についての感想</p>	<p>教員が日頃感じている事など聞けて有意義だった。 次回はより多くの教員と話してみたい。</p> <p>他の班の教員の方で、職員組織を理解していないという意見があったので職員 HP で公開しても人と人の交流が無ければ有効ではないのだと思いました。</p>
<p>②参加していただいた理事・教員の皆様へのメッセージ</p>	<p>國分理事の教員の研究時間が足りない、とあり仮想ツイッターについてお話しがあったが、理事の立場としての話しではなく、全くいち研究者側からの一方通行な話しであったように感じた。つまり、教員、職員がパートナーとして大学を運営するという趣旨のもとに賛同しているので、もう少し教職員協同に趣旨を置いた話しをしてほしかった。</p>
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>委員としてよりも参加者でありたい。</p>

平成 23 年度第 2 回「学びのひろば」アンケート

<p>①第 2 回「学びのひろば」お互いを知る～YNU をこんな風にしていきたい～ についての感想</p>	<p>今回各部局の先生をお招きし、開催できたことは大きな一歩であると思います。日頃先生と業務上関わりがあっても、業務に必要なこと以上の交流というのはなかなか持てないのが現状だと思いますので、今回この「学びのひろば」で、そういう場を作る（きっかけ作り）ことが出来たのは良かったのではと思いますし、自分では良かったと思っています。</p>
<p>②参加していただいた理事・教員の皆様へのメッセージ</p>	<p>日々業務を行っていることについて、私達事務職員からすれば当たり前と思っていることも、立場が変われば「どうして？」と思うこともいっぱいあるのではと改めて考えさせられました。</p>
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>グループディスカッションについてですが、そろそろもう少しディスカッションの部分強く押し出す必要があるのではないかと考えています。</p> <p>ディスカッションとしなくとも、意見交流の場であっても、もう少し具体的なテーマのもと、建設的な意見の交流を図れるよう工夫する必要がそろそろあるのではないかと思います。</p> <p>そのためには、もう少し企画立案に時間をかけていくことも必要なのではないかと思います。</p>

平成 23 年度第 2 回「学びのひろば」アンケート

<p>①第 2 回「学びのひろば」お互いを知る～YNU をこんな風にしていききたい～ についての感想</p>	<p>前回のアンケートで「教員と話したい」という希望があったにも関わらず、当初の申込者が非常に少なかった点が気になります。開催日時や業務の都合なのか、あるいはテーマやアナウンスの問題なのか・・・ 教員側から「今回は参加できないが次回があればぜひ」という声があったので、「学びのひろば」を職員だけのものとせず、普段から教員が気軽に参加できるような場所であってもよいのかもしれないと思いました。</p>
<p>②参加していただいた理事・教員の皆様へのメッセージ</p>	<p>ご多忙の折、「学びのひろば」へご参加いただき、ありがとうございました。 煩雑な事務手続きや書類の山は教員だけでなく職員も苦しみ、誰も幸せではないという話がでました。教員と職員が互いの仕事を増やすまいと攻防を繰り返すのではなく、問題を共有し、改善していける関係でありたいと思います。 ディスカッションでは教員の仕事が想像以上に多岐にわたること、研究には集中できるまとまった時間が必要であることなどを伺いました。どの先生も研究時間の確保に苦心されているようで、そのために自分に何ができるか、考えながら仕事をしていきたいです。</p>
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>新しく職員となった人、まだ参加したことのない人にも気軽に足を運んでもらえる場所であってほしい一方、回を重ねるごとに、常に参加している方の目は厳しくなり、より質の高いものや「学び」の“成果”を望まれているように感じます。 「学び」の“成果”と関係して、フィードバックについての必要性を強く感じています。アンケートも掲載するだけでなく、それについてスタッフがどう考えているか、打ち合わせ時にどんな意見がでたか、スタッフの側からも伝えられるメッセージがあるとよいと思います。参加してよかったと感じてもらう工夫が必要だと思います。</p>

平成 23 年度第 2 回「学びのひろば」アンケート

<p>①第 2 回「学びのひろば」お互いを知る～YNU をこんな風にしていきたい～ についての感想</p>	<p>堅い雰囲気にならず、打ち解けた感じで話をすることができてよかったですと思います。先生が参加するという事で、資料などの事前準備をしてきた方もいて、少しだけ緊張感もありました。お互いの認識の違いというものを実感し、メールだけでなく改めてコミュニケーションが必要だと先生と確認しあえ、とても有意義な時間でした。ただ、話題が先生の研究とそれに対する職員の対応という方向に流れてしまったため、普段研究と関わりのない係の人が話題に入りにくい時間帯を作ってしまう、そういう人に対して発言の機会をなかなか作ってあげられなかったことが反省点でした。</p>
<p>②参加していただいた理事・教員の皆様へのメッセージ</p>	<p>國分先生の資料にあったツイッターの内容については、お互いに言い分があると思いますが、教職員の間でしっかりコミュニケーションが取れていれば起こらなかった問題だと思いました。このような教員からの意見があれば、職員の方へお伝えいただきたいと思います。また、溝口先生のリレー型からラグビー型開発へのお話については、教職協働を考える上でとても役に立つと思いました。ありがとうございました。</p>
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	

平成 23 年度第 2 回「学びのひろば」アンケート

<p>①第 2 回「学びのひろば」お互いを知る～YNU をこんな風にしていきたい～ についての感想</p>	<p>理事のお話の中での鋭い指摘に少々動揺もいたしましたが、事務処理の手間をどう解決していくかを考えるきっかけになりました。</p> <p>よくある「理由書」については、あらかじめフォーマットを用意し、状況に応じて使い分けることにより、教員・職員双方の負担が減るのではとの意見も挙がりました。</p> <p>先生方の生の声を今後の業務の参考にさせていただく良い機会となりました。</p>
<p>②参加していただいた理事・教員の皆様へのメッセージ</p>	<p>お忙しい中、学びのひろばにご参加いただき、有難うございました。理事お二人のお話や、グループディスカッション、他の班の発表等から先生方の考えや、普段感じている事が少し理解できた気がします。通常業務では、事務に対して感じている事や、本音をお聞きできる機会がなかなかありませんので、大変貴重な機会となりました。</p> <p>このような場を設けなくても、普段から意思疎通が図れるような風通しの良い職場になっていければと感じております。</p>
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>参加者の本音を聞くためには、アンケートを無記名形式にして実施してみるのも良いのではと思います。</p>

平成 23 年度第 2 回「学びのひろば」アンケート

<p>①第 2 回「学びのひろば」お互いを知る～YNU をこんな風にしていききたい～ についての感想</p>	<p>ディスカッションの中で、気づいていない内に教員と職員を差別していることに気づかされた。区別することは必要だが、差別しないようにしていきたいと思った。</p> <p>また、グループディスカッションの進行がうまくできず、参加者に助けをもらう場面が多かった。こういう雰囲気がディスカッションに参加したくないという気持ちを募らせるのだと思う。うまく進行できるように努力したい。</p>
<p>②参加していただいた理事・教員の皆様へのメッセージ</p>	<p>様々な考えを持つ先生方の正直な気持ちを知ることができよかった。教員や職員のお互いの業務についてをよく知るためにも、この様な場や大学運営について知る機会を増やしていくべきだと思った。また、大学の仕組みや組織について詳しく知りたいという話が出たことに対し、教員のための研修も必要があることを感じた。</p>
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>昨年までは、職員通しの横のつながりを強くするがテーマだったように感じる（参加してみた感想）。これまでどおり、漠然とグループ内で話し合っただけでは昨年と変わらないように気がする。ディスカッション後どうするかについて、今後は考えたほうがいいように思う。</p>

平成 23 年度第 2 回「学びのひろば」アンケート

<p>①第 2 回「学びのひろば」お互いを知る～YNU をこんな風にしていきたい～ についての感想</p>	<p>教員の方を含めてグループディスカッションを行えたことは大変有意義でした。私の班の参加した教員の方から“このような機会があればまた参加したい”という声があったことは運営スタッフとしてありがたく、非常に嬉しいものでした。 次回以降も教員の方を含め、グループディスカッションを行えればと思っています。</p>
<p>②参加していただいた理事・教員の皆様へのメッセージ</p>	<p>お忙しいところ“学びのひろば”にご参加いただきありがとうございました。 お話やディスカッションを通じて、普段の業務で事務職員として改善しなければならない点、また事務職員として教員に主張しなければならない点があることを再認識されました。</p>
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>今回当初の参加希望者が少なかったことは非常に気になりました。 参加者の集め方の検討を行う必要があると考えます。</p>

平成 23 年度第 2 回「学びのひろば」アンケート

<p>①第 2 回「学びのひろば」お互いを知る～YNU をこんな風にしていきたい～ についての感想</p>	<p>普段なかなか聞くことができない教員の意見や教員サイドの情報を、直接伺うことができたのはとても有意義でした。以前から、そういう場をもてないかと思っていたので、短時間ながらも今回実現できたのは嬉しかったです。</p> <p>ただ、やはりテーマが漠然としていた為、先生にフォローをしていただいたものの、話を膨らませるのが難しかったです。今後も教員との交流を継続していくのが望ましいですが、次回以降は具体的な事象をテーマにし、そこで出た意見をなんらかの形にしていけるとこの学びのひろばがもっと活かして良いと思います。</p>
<p>②参加していただいた理事・教員の皆様へのメッセージ</p>	<p>お忙しい中、お時間をいただきありがとうございました。</p> <p>國分理事からも溝口理事からも話題提供・問題提起していただき、日常業務を見つめなおすきっかけになりましたが、それだけでなく、執行部としてももう少し踏み込んだ話や、具体的な改善案等の提案を伺いたかったです。</p> <p>同じ班でご一緒させていただいた安野先生がおっしゃっていたように、もっと教職員の交流を重ねるとともに、私もプロ意識を持って仕事を行い、お互いがパートナーと思えるような関係になれるよう頑張りたいと思います。</p>
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>今回の内容は「始まり」だと私は考えています。上記①でも書きましたが、これ限りで終わらせず、今後も継続していくとともに、具体的な業務改善等次のステップにつなげていくことが今後必要だと思います。</p> <p>今までのスタイルも意義はありますが、漠然と講和を聞き、グループディスカッションで他部局の人達と知り合えるけれど、話し合うだけというイメージが定着し、参加者の固定化が今後も進むと思われます。参加者のモチベーションを上げ、より参加価値を見いだせるものにしていく努力が求められる段階にきていると思います。</p> <p>今後は、より具体的なテーマや抱えている身近な課題を取り上げていけると良いと思います。</p>

平成 23 年度第 2 回「学びのひろば」アンケート

<p>①第 2 回「学びのひろば」お互いを知る～YNU をこんな風にしていきたい～ についての感想</p>	<p>今まで、仕事上で多くの先生方といろいろとやりとりをする機会があったのですが、YNU について意見交換をすることはなかったので、先生方が大学に対してどう考え、職員についてどう思っているのか聞くことができ、今後の仕事に役立てていきたいと思いました。</p>
<p>②参加していただいた理事・教員の皆様へのメッセージ</p>	<p>國分先生・溝口先生・私の班の松本先生のお話を聞いて、事務職員同士だけでなく、教員とももっとコミュニケーションをとり、先生方の実情を理解していかなければならないと思いました。また、先生方も職員に対して、是非いろいろとご意見をいただけると幸いです。</p>
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>今回、私の班が YNU にきて年数が少ないということで YNU についての意見が出にくかったので、参加される先生、全員に事前に〇〇について意見を聞かせてもらいたいと明確に伝えた方がよいと思いました。 また、参加者からも先生に対しての質問がでにくかったので、もう少し事前に意見をまとめておいてもらえればよいと思います。</p>

平成 23 年度第 2 回「学びのひろば」アンケート

<p>①第 2 回「学びのひろば」お互いを知る～YNU をこんな風にしていきたい～ についての感想</p>	<p>普段接点のない先生との対話のなかで、先生が疑問に思う事務の対応エピソードを聞いて、「それは変だな」と感じたり、「それは仕組み上どうしようもないな」と感じたり、そのひとつひとつが認識のギャップを埋めるのに有用だと思いました。ただ、事務仕事も「細部は見えるけれども全体は見えにくい」状態になっていて、先生の疑問にお答えできないところも多々あり、力不足を感じました。先生がよくお話ししてくださったので当初不安に思っていた進行も比較的スムーズに進みました。</p>
<p>②参加していただいた理事・教員の皆様へのメッセージ</p>	<p>教職協同、とはいうものの、國分理事のお話を聞いて、教職間の「溝」の存在を改めて感じました。先生方にできるだけお手を煩わせないような工夫をしなければと思う一方で、なぜその事務手続きが必要となるのかをしっかりと説明できるようにならなければと感じました。研究費の執行は、いろいろ細かな制約もありますが、先生方にも事務側の説明を受け止めてもらえると、事務教員双方が気持ちよくスムーズに業務を遂行できると思います。普段からのコミュニケーションの必要性を強く感じました。</p>
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>人数が増えると話題も広がりますが、共通理解のあるところで話をせざるを得ないのでざっくりした話になりがちです。大人数参加型の「ひろば」のジレンマですが……。幅を広くとりつつさらに密度の濃い話を引き出すのが進行の課題だろうと思います。</p>

平成 23 年度第 2 回「学びのひろば」アンケート

<p>①第 2 回「学びのひろば」お互いを知る～YNU をこんな風にしていきたい～ についての感想</p>	<p>大学の競争力を高めるために欠かせない「教員と事務の協働」がテーマでした。意識を常に高く持ち、ベクトルを合わせ、様々な業務や立場を超えてみなが快く協力し合う。例えば、美しいモザイクアートや雅趣に富む庭園を造る場合のように、途中で意見の相違が度々生まれる、簡単に進まないことも多いでしょう。</p> <p>ハプニングも活用しながら、最終的にひとつひとつの仕事の結果が集結して光を放つことで完成した全体の光景を見る喜びはとて大きいと思います。そんなイメージを思い描けば仕事をもっと楽しくなると思いました。</p>
<p>②参加していただいた理事・教員の皆様へのメッセージ</p>	<p>國分理事のお話から、従来型の考え方や方法を脱却し、科学的な戦略にそって、絶えずチャレンジしなければならないということがよくわかり、国立大学として社会的責任が大きく、情報の整備が重要であることを痛感しました。また、ノーベル賞候補級の研究者あて呼び寄せレターの発信は興味深い作戦だと思いました。</p> <p>溝口理事のブドウ棚のバラや高山のカナリヤのお話しは、古人のシンプルなアイデアが歳月を経て今なお活用されているという点で感慨深いものでした。また、コンカレント・エンジニアリングという方法は、目的意識と現場情報を見える化し共有し合うことで、パフォーマンス拡大が期待できるということから、これからの協働のあり方としてとても魅力的に感じました。</p> <p>グループディスカッションに参加して頂いた永井先生からは、教員と事務との日頃からのコミュニケーションが大切であることを、様々な実例を通して伺いすることができました。</p>
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>協働する者それぞれがお互いの違いを知り合うこと、PDCA サイクルの繰り返しにより俯瞰されること、さらにそこから得た情報が共有されること、すべての意味で、学びのひろばはとて有意義だと思います。ぜひ、今後も継続していただきたいと思います。</p>